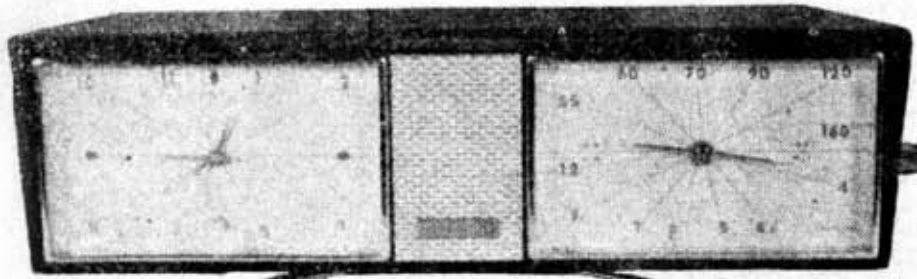


コロムビア 8石 2 Band 1848

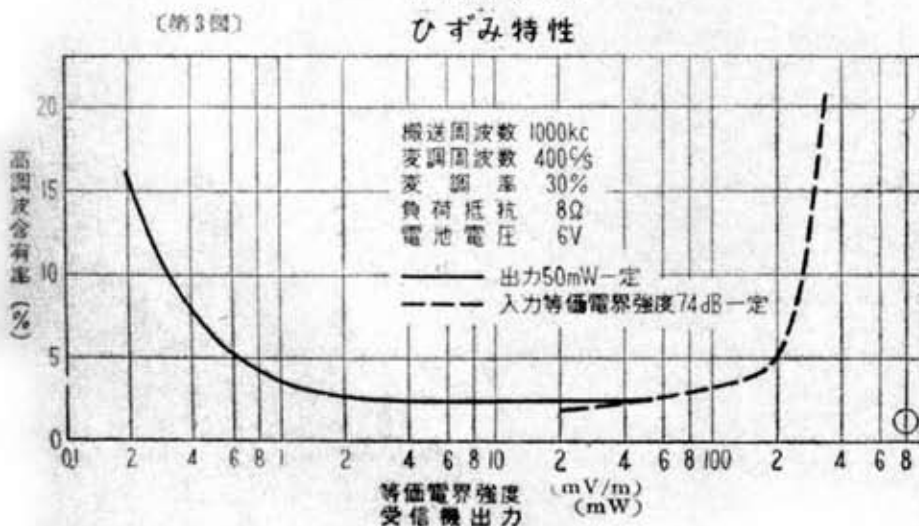
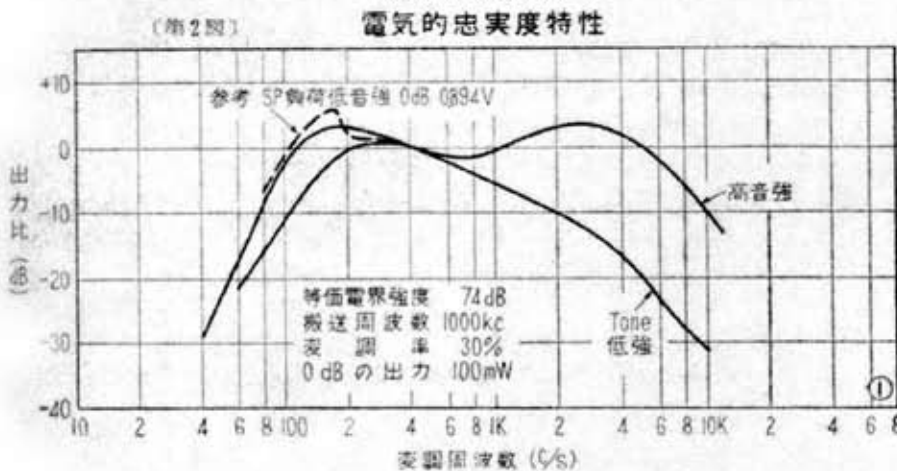
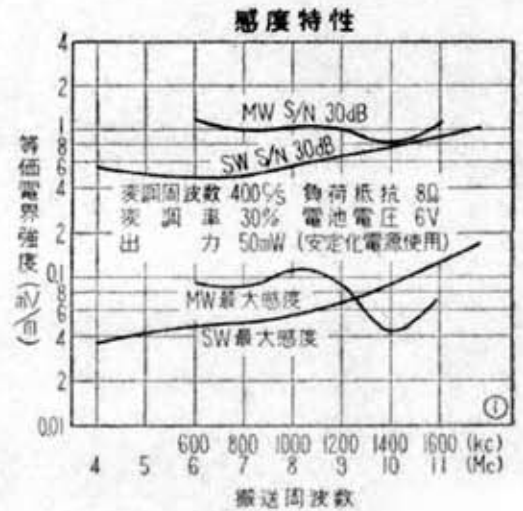
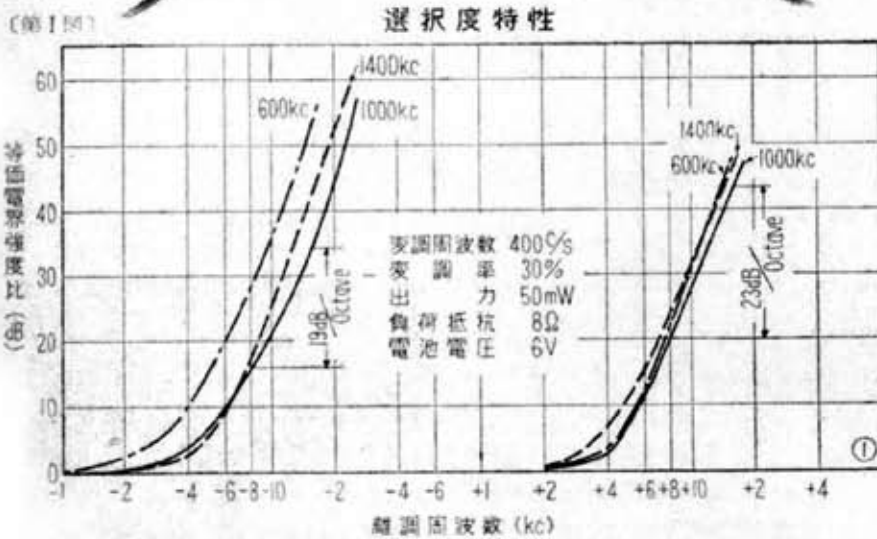


回路構成

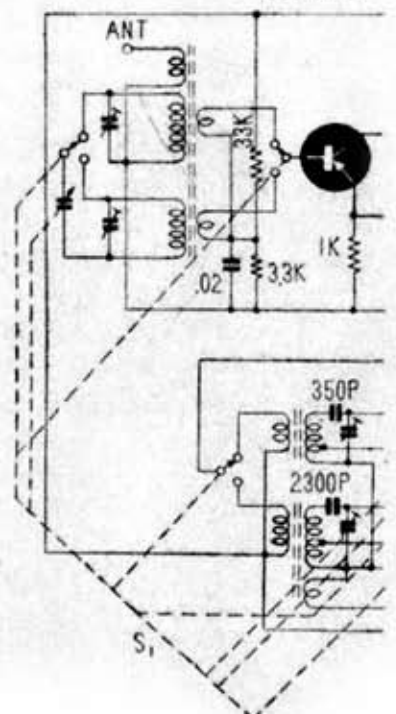
8石、ダイオードで2バンドとなっているのは、他社のとほとんど同じであるが、10cmと6cmのスピーカ2個を用いてデラックス化をはかっている。今回測定したもののなかでは日立T-728と本機が時計付きであるが、こちらの目覚しは、オルゴールを採用している。電源は6V。

測定結果をみて

感度特性は総体的によいようだ。感度差も、2バンドとも10dB以下。出力も無ひずみで270mWあるから実用上十分だし、イメージ妨害比も悪



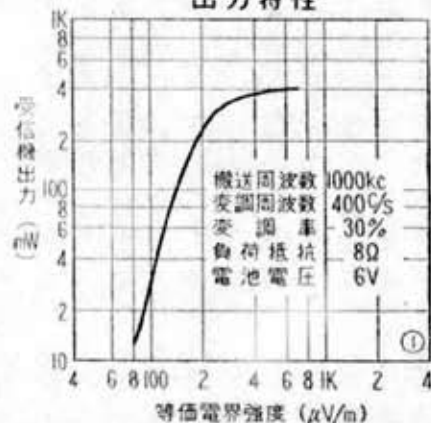
2SA93



正 価 19,800 円

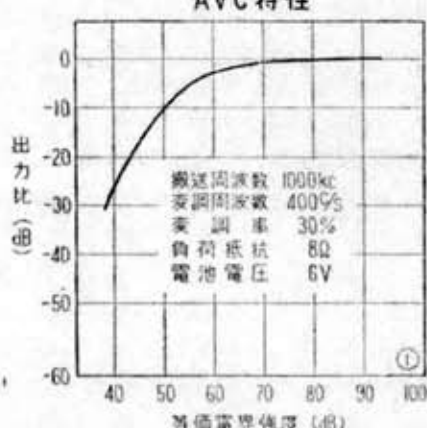
くない。ただ、中波の中間周波妨害比が 1400 kc 以上で少し下がっている

出力特性



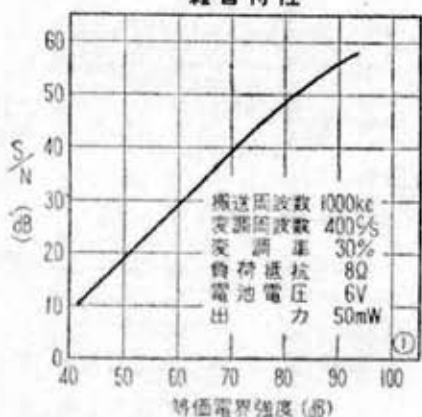
(第5図)

AVC特性



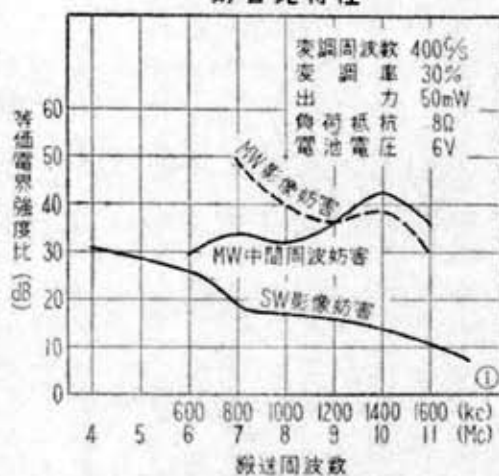
(第6図)

雑音特性



(第7図)

妨害比特性



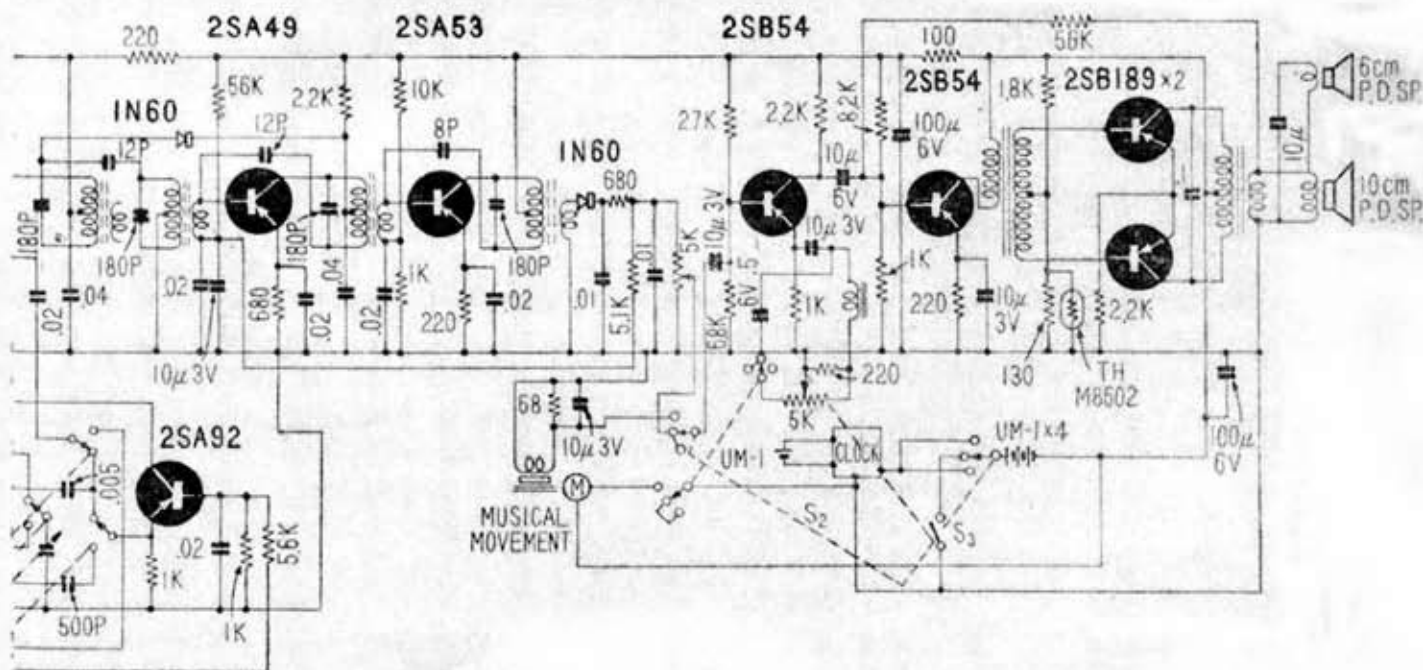
(第8図)

という名がなければ、何かと思うようなデラック版である。

大部分の操作は側面においやり、前面をスツクリさせている。(写真参照)とすると、音はどこから出るかといえば、10cm の SP が下面についていて、6cm のみが正面にある。

バリコンはエアーの中型で、電池は単一である、配線はプリント基板を用い、フェライト・コアを同調ツマミなどがいつばいあるほうに平行させている。なお、目覚しにラジオが入るほかウエストミンスター・チャイムが、オルゴールとなつてついている点が特徴であろう。それも、電池で動作するのでよくできている。

寸法 幅310×高90×奥行180mm、重さ約3kg
(本機のツマミは右側面に一掃してある。)



(第9図)